

大戸川ダム環境調査計画書 修正箇所一覧

No.	ページ	箇所	修正内容	備考
1	P5 P20 P21	調査項目(鳥類調査方法) 鳥類(調査範囲) 鳥類(調査時期)	鳥類調査方法に無人カメラ撮影、夜間調査を追加。	大戸川ダム環境保全委員(以下、「委員」)からの意見を踏まえた修正
2	P5 P46-47	調査項目(蘚苔類) 蘚苔類調査	調査項目に蘚苔類を追加。	委員からの意見を踏まえた修正
3	P12	調査方法(気象)	近年はほとんどの観測所で雲量の測定が実施されていないため、大阪管区気象台のデータを使用することに変更。	事業者の判断による修正
4	P20	鳥類(調査方法)	カラ類およびキツツキ類の記録について追記。	委員からの意見を踏まえた修正
5	P35	底生動物(調査方法)	定量採集の採集箇所数・回数を河川域典型性の底生動物調査と統一。	事業者の判断による修正
6	P39	植物(調査方法)	巨木が確認された場合の記録について追記。	委員からの意見を踏まえた修正
7	P39	植物(調査範囲)	調査時に留意すべき箇所(休耕田、畦畔等)や群落(マント群落、ソデ群落)について追記。	委員からの意見を踏まえた修正
8	P41-42	植生(調査方法)	植生自然度図を作成することを追記。	委員からの意見を踏まえた修正
9	P48	陸域典型性(調査方法)	今後の調査結果整理時等にデータが必要になることから、調査方法に横断植生を追加。また、調査結果の比較が可能となるよう、ベイトトラップのトラップ数を河川域典型性と統一。	事業者の判断による修正
10	P49	陸域典型性(調査時期)	開空率の測定時期を明確化。	事業者の判断による修正
11	P51	河川域典型性(調査方法)	付着藻類の定量採集コドラートを、相調査のコドラートサイズに統一。	事業者の判断による修正
12	P52	河川域典型性(調査方法)	哺乳類の調査方法として、目撃・フィールドサイン調査時に自動撮影装置による調査を追加。	事業者の判断による修正

※上記の他、誤記の訂正等について、事業者の判断により修正を実施